

# 猛暑の夏に考える ちよだ100年の気候変動

- 35℃以上の「猛暑日」が急増しています。1995年より2桁が日常になり、昨年は16日でした。
- 今年は8月8日現在で、17日になっています。
- 全国では、8月8日現在、2週連続1万人を越す救急搬送者が出ており、1万人を越すのは史上初とのことです。(消防庁調べ)



あまりにも日差しが強いので、信号待ちの時はいつも木陰を探しながら歩いています。



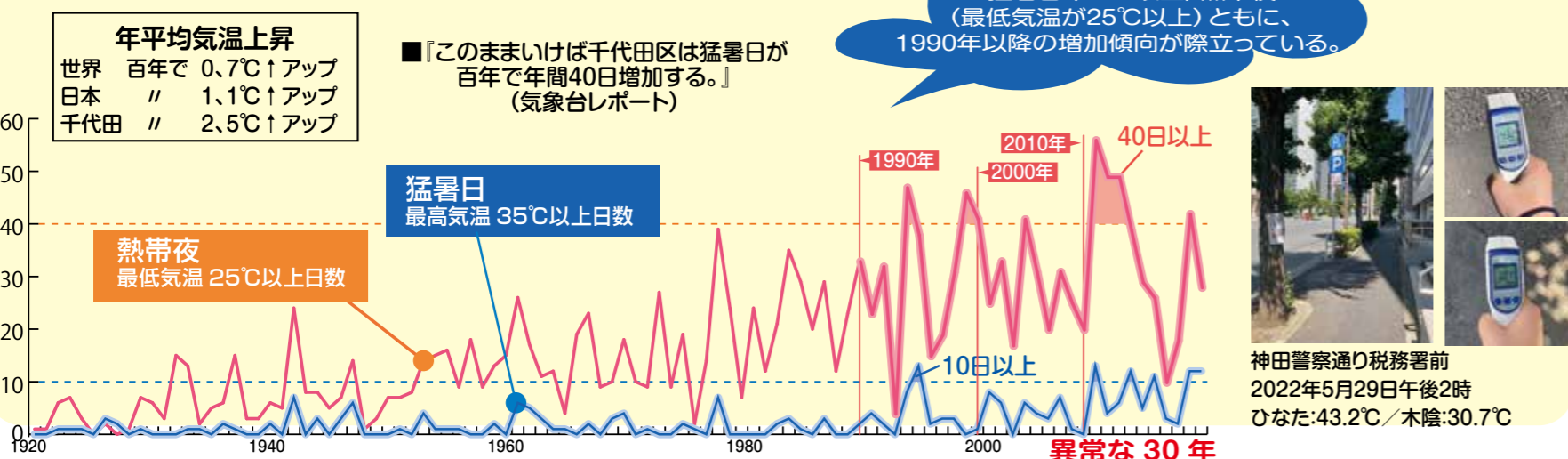
緑陰があると地面の温度は約20℃下がると言われています。地面に近いところにいる、子どもや犬や車椅子の方にとって猛暑はより深刻です。



神田警察通りの木陰で信号待ちする人々

## 1920~2018年 わがまち千代田100年の気候変動

### 猛暑日・熱帯夜発生数推移



9月は決算議会です。身近なことで取り扱って欲しいテーマ、相談事やちよだの声ニュースの感想などお書きください。

### 「ちよだの声」はがきアンケート

自由にお書きください。

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

## 代表質問 6月28日 小枝すみ子

- Q1 住民の声を聞いて計画変更した事例に学んで欲しい!**  
**A** 平成31年より景観行政団体になり、歴史的建造物保存についても対応可能になった。
- Q2 地域清掃の仕組みづくりを!**  
**A** 清掃活動を通してコミュニティの輪が広がる、仕掛けづくりを検討する。
- Q3 文化や福祉など「団体補助のあり方」の充実を急げ!**  
**A** 公益的活動の継続を目的とした団体補助のあり方を研究していく。
- Q4 高齢者が外出したくなる「イス」のある道づくり**  
**A** ウォークアブルの観点から高齢者に優しいまちづくりを進めていく。
- Q5 閉鎖したままの箱根千代田荘の今後**  
**A** 平成28年の募集に応募する事業者がなかったため営業終了している。



## 一般質問 6月29日 はまもりかおり

- Q1 神田警察通りに配備した警備員の特命随意契約の妥当性 単価が「日当最高8万円以上」と高額な理由は?**  
**A** 施工時の安全確保と工事の円滑化が目的。  
 ※妥当性について明確な答弁はなかった。
- Q2 神田警察通りの道路整備の進め方において、現在問題になっている二期工事区間ではなく、神田駅側など他区間から工事を進める選択肢はあるか。**  
**A** 二期工事と並行して、他の区間の設計等を検討することはありうる。



# ちよだの声



## NEW 小枝・はまもり区政報告 ニュース No.1

〒102-8688 千代田区九段南1-2-1 千代田区役所7階 ちよだの声  
TEL.03-3264-2111(代表) FAX.03-3237-9805

自分ごとと思えば、みんながまっくと変わる!

**ごあいさつ**

ちよだの声は、どこの政党にも属さない無所属の会派です。このたび、新人のはまもりかおりを議会に送っていただき、女性2人の会派になりました。

区政には是々非々の立場で、おかしなことはしっかりチェックし、皆さんの声を聞いて良いことはどんどん進めてまいります。異なる価値観の人とも認め合って、つながれる街にしたいです。

千代田区議会議員 小枝すみ子・はまもりかおり

## 1 千代田区・東京で加速する再開発の動き

千代田区は、居住者が6万5千人、在勤者が85万人、その差13倍という、全国に2つとない特殊な都市です。皇居が真ん中であり、政府の中枢から商業エリア、そして生活の場でもある神田・富士見・麹町など個性的なまちが連なっています。歴史が刻まれた地域、そのポテンシャルゆえ、デベロッパーにとっては非常に魅力的に映るようです。再開発の動きが止まりません。

しかし、これは千代田区に限った話ではなく、神宮外苑や日比谷公園など、東京全体で起こっていることです。行政はデベロッパーの提案を受け入れ、規制緩和型の開発を促進しています。

## 2 これ以上失いたくない緑やつながり

ある区民の方から「これまでの再開発について検証をした方がよい」というコメントを頂きました。本来は、その後どうなったのか、関わった人たちへのインタビューを含め、様々な観点からの振り返りが必要です。

商売をやめて一軒家をビルにして一番上に住んでいる方はこんな話をしていました。「陽当たりが良いからと上に住んだけど、足が痛くて下に降りられなくなった。以前は道に出て立ち話をしていた近所の人とも最近会っていない。」

また、神宮外苑や日比谷公園の整備を危惧している人は「緑を失うということは自然環境の話だけではない。思い出や人とのつながりも失うのだ。」と話してくれました。再開発によって、本当に私たちのくらしは豊かになっているのでしょうか。都会だからこそ、緑や人とのつながりが大事です。デベロッパーの計画ありきではなく、住民が幸せになる住民が主役のまちづくりは、どのように実現できるでしょうか。

## 3 各地で住民が主役のまちづくり事例が!

わたしたちが注目したいのは、理念あるリーダーによって住民主役のまちづくりを進める事例が出てきたということです。

たとえば関西では、明石市の泉房保前市長が国よりも先に積極的な子育て支援をすすめたことで、人口増につながり、地域経済も活性化しました。東京では、杉並区の岸本聡子区長が「町の専門家は住民、その声を大切にしたい」と住民主体の区政を実践しています。世田谷区の保坂展人区長は、再開発事業に反対する住民達と200回以上の話し合いを行って、納得度の高いまちづくりを進めています。共通することは、争点から逃げずに、市民を信用して、粘り強くその力やアイデアを引き出し、子育てや環境、民主主義の課題を解決していくという姿勢です。わたしたちもどんどん声をあげ、提案していきましょう。

**おしゃべりCAFE** 一緒に考えましょう

9月2日(土)18:00~19:30  
 神保町ひまわり館・3階和室(神田神保町2-40)

ゲスト 福岡浩彦氏 小枝すみ子 はまもりかおり

小枝すみ子 sumikokoeda@gmail.com 090-5506-1516

はまもりかおり kaori.hamamori@gmail.com 070-2654-3920

